

CallManager Express : Cisco 7960 および 7940 IP Phone のカスタム呼び出し音の追加

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

[概要](#)

このドキュメントでは、Cisco CallManager Express にカスタム呼び出し音を追加するときに使用する設定手順を説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- Cisco Unified CallManager Express 設定の基本的な知識。
- Cisco IP 電話は Cisco Unified CallManager Express に現在登録されています。

[使用するコンポーネント](#)

この文書に記載されている情報はこれらのソフトウェア および ハードウェア バージョンに、すべての Cisco CallManager リリースおよび Cisco IP Phone 負荷に適当基づいています:

- Cisco Unified CallManager Express リリースと Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(4)T を 3.4(0) 実行する Cisco IOS[®] ルータ
- Cisco IP Phone 7960G 実行するファームウェアのバージョンを 7.2(3)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく

必要があります。

関連製品

この設定も下記のもので使用することができます:

- Cisco IP Phone 7940G

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

Cisco IP 電話 7960G および 7940G はハードウェアで設定される 2 つのデフォルト リング型が付いています。それらは *Chirp1* および *Chirp2* です。また、Cisco CallManager Express は、Pulse Code Modulation (PCM; パルス符号変調) ファイルとしてソフトウェアで実装されるカスタムの呼び出し音をサポートするようにも実装されています。XML ファイル (ネームド RingList.xml) は Cisco Unified CallManager Express ルータのフラッシュするサイトで利用可能な リング リスト オプションを記述する必要とされます。あなた自身の PCM ファイルおよび RingList.xml ファイルの作成が付いているサイトで利用可能な電話リング型をどのようにカスタマイズできるかこの資料に記述されています。

設定

このセクションでは Cisco Unified CallManager Express にカスタム電話リング型を追加するために、情報が表示されます。

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

次の手順を実行します。

1. 各カスタム呼び出し音の PCM ファイルを作成します (1 つのファイルで 1 つの呼び出し音)。PCM ファイルは次の形式のガイドラインに準拠する必要があります。リングのための PCM ファイルは IP 電話のためのこれらの必要条件を適切な再生 on Cisco 満たす必要があります: 16000 サンプル/秒 (ヘッダーなし) 8000 サンプル/秒 8 ビット/サンプル uLaw 圧縮 最大呼び出し音サイズ 16080 サンプル 最小呼び出し音サイズ 240 サンプル 呼び出し音のサンプルの数は 240 の倍数 呼び出し音はゼロ クロッシングで開始および終了する これらのファイル形式の要件をサポートする任意の標準的なオーディオ編集パッケージを使用すると、カスタム電話呼び出し音の PCM ファイルを作成できます。
2. ASCII エディタを RingList.xml を編集するのに使用して下さい。RingList.xml ファイルは XML オブジェクトを定義します 電話リング型のリストが含まれています。各リング タイプはそのリング タイプおよびそのリングのための Cisco IP Phone の Ring Type メニューで表示するテキストに使用する PCM ファイルにポインタが含まれています。CiscoIPPhoneRingList XML オブジェクトでは、この情報を記述するのに次のサンプル タグセットを使用します。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
<Ring>
<DisplayName/>
```

```
<FileName/>
</Ring>
```

</CiscoIPPhoneRingList> この定義のリングは 2 つのフィールドが含まれています :DisplayName ファイル名これらのフィールドは、各電話呼び出し音の種類に必要です。 50 までのリングをリストできます。 DisplayName フィールドは Cisco IP Phone のリング Type メニューで表示する関連する PCM ファイルのためのカスタム リングの名前を定義します。 Filename フィールドは DisplayName フィールドと関連付けるためにカスタム リングのための PCM ファイルの名前を規定します。 DisplayName フィールドと FileName フィールドは 25 文字を超えることはできません。次に、2 つの電話呼び出し音の種類を定義するサンプル RingList.xml ファイルを示します。 <CiscoIPPhoneRingList>

```
<Ring>
<DisplayName>Piano1</DisplayName>
<FileName>Piano1.raw</FileName>
</Ring>
<Ring>
<DisplayName>Sax1</DisplayName>
<FileName>Sax1.raw</FileName>
</Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

3. Cisco Unified CallManager Express ルータのフラッシュするに新しい PCM ファイルおよび XML ファイルを TFTP して下さい。

4. ファイルにアクセスを許可する **tftp-server** コマンドを設定して下さい。

```
Router_CCME(config)#tftp-server flash:RingList.xml Router_CCME(config)#tftp-server
```

```
flash:Piano1.raw Router_CCME(config)#tftp-server flash:Sax1.raw
```

注: tftp-server コマンドは大文字/小文字の区別があります。フラッシュするのファイル名を確かめて下さい: メモリおよび述べられる tftp-server コマンドは同じです。 show flash: コマンドがフラッシュ メモリのすべてのファイルをリストするのに使用することができます。

5. IP Phone をリブートします。 IP 電話がリブートされるとき、 IP 電話はファイルを得、 リングが設定の下でリング Type オプション リストを打ち込むことを示します。

```
Router_CCME(config)#telephony-service Router_CCME(config-telephony)#restart all Reset 1
phones: at 5 second interval !--- This can take several minutes per phone. Starting with
7960 phones Router_CCME(config-telephony)#
```

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [カスタム電話リング- Cisco CallManagerの機能およびサービス ガイド](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)